



平成 28 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司
(コード番号：8705)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 杉 本 卓 士
電 話 03-5543-8705

平成 29 年 3 月期第 1 四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 1 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の連結業績につきましては現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 1 四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前年同期実績 (平成 28 年 3 月期第 1 四半期累計期間) (A)	680	△358	△293	△337
当期実績見込み (平成 29 年 3 月期第 1 四半期累計期間) (B)	877	△47	△31	△44
増 減 額 (B - A)	197	311	262	293
増 減 率 (%)	28.9	—	—	—
(ご参考) 平成 28 年 3 月期実績	3,280	△693	△586	330

2. 差異が生じた理由

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資が抑えられ輸出も横ばいとなる中、円高進行から企業収益には慎重な見方が強まりました。雇用改善が続いているものの、個人消費は横ばいとどまり、消費税率引き上げの先送りが決定されるなど、回復傾向の中でも弱さが見られました。

商品市況は、貴金属は米国の利上げ先送りや英国の EU 離脱問題による金融不安から金を中心に国際価格が上昇しましたが、国内価格は円高により上値が抑えられました。原油は産油国の増産凍結に向けた動きや生産減少から上昇、穀物は南米の減産やラニーニャ現象発生懸念での急伸を経て急落し、全国市場売買高は 14,195 千枚（前年同期比 123.9%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料につきましては、791 百万円（前年同期比 143.7%）となりました。また、売買損益につきましては、貴金属市場や石油市場におけるディーリングで利益をあげたものの、7 百万円の利益（前年同期比 57.8%）にとどまりました。

この結果、営業収益は 877 百万円（前年同期比 128.9%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては、924 百万円（前年同期比 89.0%）となる見込みであります。これらにより、営業損失は 47 百万円となり、経常損失は 31 百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は 44 百万円をそれぞれ計上する見込みであります。

以 上